

製品名: CIRBP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01829**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 19 kDa; Observed MW: 19 kDa

抗原情報

遺伝子名	CIRBP
別名	CIRP
遺伝子 ID	1153
SwissProt ID	Q14011
免疫原	ヒト CIRBP の組み換えタンパク質

背景

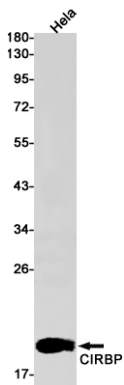
細胞生存に関与する遺伝子の転写産物を安定化させることで、遺伝毒性ストレス応答において保護的な役割を果たす、寒冷誘導性

mRNA 結合タンパク質。翻訳活性化因子として作用する。寒冷誘導性細胞増殖抑制において重要な役割を果たすと考えられる。ストレス応答性転写産物 RPA2 および TXN の 3'非翻訳領域 (3'-UTR) に特異的に結合する。翻訳抑制因子として作用する。過剰発現すると、ストレス顆粒 (SG) の集合を促進する。

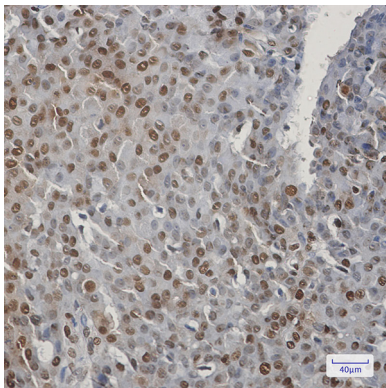
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



CIRBP 抗体を使用した HeLa 溶解物中の CIRBP のウェスタン ブロット分析。



CIRBP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。